



月	日付	名前
日		

問題

次の文章を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

伝説とむかし話とはどうか。それに答えるならば、むかし話は動物のごとく、伝説は植物のようなものであります。むかし話は方々を飛び歩くから、どこに行っても同じ姿を見かけることができますが、伝説はある一つの土地に根を生やして、そうして常に成長していくのであります。すずめやおじろはみな同じ顔をしています。うめやつばきは一本一本に枝ぶりが変わっているので、見覚えがあります。かわいいむかし話の小鳥は、多くは【伝説】の森、くさむらの中で巣立ちますが、同時に香りの高いいろいろの【伝説】の種子や花粉を、遠くまで運んでいるのもかからであります。自然を愛する人たちは、常にこの二つの種類のむかしの、配合と調和とおもしろがりですが、学問はこれを二つに分けて、考えてみようとするのが始めであります。

(柳田国男作「日本の伝説」より)

① ーの「それ」は指示語です。何を指しているか、一文にー線を引きましょう。

② この文章にはたとえがたくさん書かれています。次の1・2に答えましょう。

1 「むかし話」と「伝説」は、それぞれ何にたとえられていますか。

・むかし話（動物） ・伝説（植物）

2 「うめ」や「つばき」は、「むかし話」のたとえですか、「伝説」のたとえですか。

（伝説）のたとえです。

③ 【 】の中には同じ言葉が入ります。探して、文章の中に書き入れましょう。

④ この文章は何について書かれていますか。

ア 伝説やむかし話は、動物や植物と同じようにどこに行っても同じだから、学問的に二つを分けて考えることはできない、ということについて。

イ 伝説やむかし話は、たいへん関係が深い、学問的には二つを分けて考える、ということについて。

ウ 伝説やむかし話は、ちがいが大きいので、学問的にも二つを分けて考える、ということについて。